



間に合う?作付け!!

台風7号は町全域に甚大な被害をもたらした。多くの農家の方々から令和6年度の作付けができて



ふじい まさひこ 藤井 昌彦議員

農家負担の逆転現象解消を 国の制度以上の軽減はしません



るのか、受益者負担がどうなるのか不安な声を聴く、そこで

①農地、施設の復旧見込みと来年度の作付けに間に合うのか
②激甚指定を受け、小災害とそれ以外の災害での負担金の逆転現象(額の大きい災害より小さい災害の方が負担額増)が起

こる可能性があり、差額を縮小してはどうか

町長 ①12月7日で農地、施設の災害査定を終

え、年内に激甚災害補助率の申請を行い農地及び施設災害の早期復旧を目指す。作付けに間に合うよう町として遅滞なく進めます。

②国の制度に基づいた補助率で現時点では、差額の縮小は考えていません。

各農地については、農家の財産であるため、荒廃にならないよう自己保全をお願いします。

保護者の経済活動に寄り添う覚悟は

環境整備を推進しなければならぬと考えています



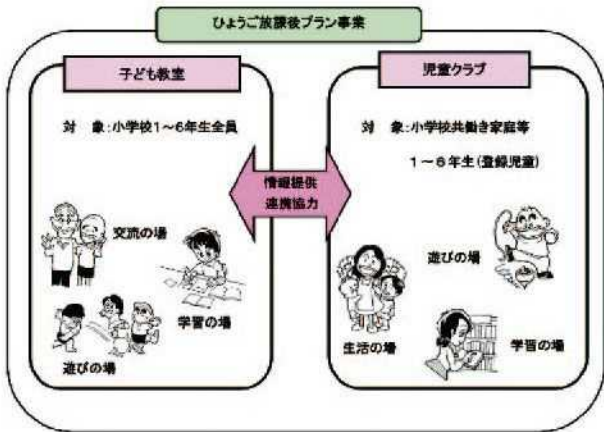
委員会として、どこまでの覚悟を持って寄り添う気があるのか伺う。

教育長 ふるさとを担う子どもを育むまちを実現

していくために、町の将来を担う子どもたちを育てる教育環境の整備と、保護者が安心して働けること、子どもを預けることのできる環境の整備を推進していかなければならないと考えています。

それに近づけていく作

業は、既に検討しています。ただ、今一番ネックになっているのは、人材不足です。団塊の世代を迎えて、今はその後の世代に入ってきているため、非常に人が少なくなっています。放課後児童クラブも、希望者があっても支援員がいらないという状況であり、一生懸命、探しているのが現状です。できるだけ働きやすい環境をつくっていききたいと考えています。



ひょうごプラン事業(兵庫県 放課後児童クラブについてより)



よしかわ やすはる 吉川 康治議員

放課後児童クラブの開設で、今は募集しても人が来ない、開設時間が18時までで、19時までできない、送迎は基本的にできない、これらの課題もあるが、まず、保護者の経済活動に対して、教育